

# 会 報 第 4 号

1983. 11  
日本家庭科教育学会  
中 国 地 区 会

## 地区会総会・研究発表会・講演会

昭和58年度の地区会総会・研究発表会・講演会は、8月20日に鳥取大学教育学部を会場に鳥取県の会員のお世話で開催されました。参加者は45名、以下にその大要を載せます。

### 昭和57年度決算書

(自昭和57年1月1日 至昭和57年12月31日)

#### 〔収入の部〕

費 目	予 算	決 算
前年度繰越金	32,655	32,655
地区会費	100,000	94,000
本部からの還付金	17,150	22,540
雑 収 入	1,000	4,347
合 計	150,805	153,542

#### 〔支出の部〕

費 目	予 算	決 算
総 会 費	30,000	28,224
通 信 費	30,000	22,560
事務用品費	20,000	7,000
会 議 費	10,000	9,800
会報印刷費	30,000	29,700
雑 費	5,000	400
予 備 費	25,805	0
次年度繰越金	-	55,858
合 計	150,805	153,542

## 役員改選

本年は役員改選の年であるので地区会則及び地区会役員選挙規定に則って改選作業を進めた。先ず、6月から7月にかけて各県毎単位でその県の会員のなかから1名の役員候補を選出し、ついで8月20日、各県の役員候補5名が話しあって役職を分担した。ついで総会にはかって承認を得た。

地区会長 桑原 敏子(広大学校教育学部)

## 地区会総会

開会の辞・地区会長挨拶につづいて、報告として昭和57年度の事業・会計・監査の報告がなされた。協議として、役員改選の経過及び新役員の承認、昭和58年度の事業計画・予算案について協議された。最後に、来年度の総会並びに研究発表会開催地を決定した。

### 昭和58年度予算書

(自昭和58年1月1日 至昭和58年12月31日)

#### 〔収入の部〕

費 目	予 算	備 考
前年度繰越金	55,858	
地区会費	100,000	100人分
本部からの還付金	25,200	280円×90人
雑 収 入	2,000	預金利子
合 計	183,058	

#### 〔支出の部〕

費 目	予 算	備 考
総 会 費	40,000	プログラム、アルバイト手当、会場借用費等
通 信 費	30,000	会報、案内状等郵送代
事務用品費	20,000	用紙、封筒等
会 議 費	10,000	役員会費等
会報印刷費	30,000	
雑 費	5,000	
予 備 費	48,058	名簿印刷等
合 計	183,058	

地区副会長 中間美砂子(山口女子大家政学部)

〃 西村 綾子(岡大教育学部)

監 査 太田 昌子(島大教育学部)

田結庄順子(鳥大教育学部)

なお、本日役職分担を話し合ったために、庶務会計の担当者は後日地区会長から委嘱することの了解を得た。

## 事業計画

研究発表会開催、会報発行を行い、さらに、地区の特色ある共同研究を推進する。

昭和59年度地区大会開催地

島根県で8月に開催することに決り、太田昌子氏からおひきうけの挨拶があった。

## 研究発表

今回は、7件の研究発表があった。当日発表者が用意された要旨を載せる。

### 中学生の家庭系列履修に関する意識

島根大学教育学部  
太田昌子

(目的) 中学校技術・家庭科では、昭和56年度から、領域の一部を男女が相互に乗入れすることとなった。本調査は、男子も家庭科の内容を履修するという新事態に対処し、その効果をより高めるための基礎的資料を得る目的で行なったものである。

(方法) 調査対象は松江市内の中学校/年生男女計505名であり、調査時期は昭和59年9月下旬～10月上旬である。調査方法は質問紙法によった。

(結果) 種々の観点よりの質問に対する回答を総合してみると次のような傾向がみられた。

- (1) 小学校の家庭科についての意識をみると、学習への興味度、有用意識共にかなり男女差がみられた。また男女共興味度に比べ、有用意識がかなり高い傾向がみられた。
- (2) 技術・家庭科の男女共修に関する意識についてみると、関心は高いとはいえず、また男女で比較してみると、男女共修に対しては、女子の方が男子よりやや積極的傾向がみられた。
- (3) 中学校の家庭系列各領域の学習に対する興味度にも、かなり男女差がみられた。しかし、「食物領域」に対する興味度は、男子もかなり高かった。
- (4) 「食物1」の内容では、男女共に「調理実習」に対する興味が高かった。
- (5) 「調理実習」に関する興味、意欲等についても、かなり男女差がみられた。
- (6) 家庭系列における男女共修の学習形態すなわち共学か別学かに対する関心は、男女共それほど高いとはいえず、余りはっきりとした希望や意見は持っていないようであった。

結婚成立過程について

—— 家族関係教育の立場から ——

鳥取女子短期大学 高橋 均子

<目的> 本研究は短期大学家政学科学生に対し、彼らの家族形成にあたり、結婚をより客観的・現実的に把握させ、「家族関係教育の充実をはかることと目的とする。

<方法> 鳥取県中部地区、1市9町村の18歳から59歳までの未婚者、既婚者の男女を対象とし、無作為抽出法、留置記入法で回収する。配布数245、有効回収数139、回収率56.3%である。今回は既婚者の結婚生活における幸福感をもとに4比較群を設定し、関連項目とクロス分析し、統計的有意差の検定(χ<sup>2</sup>検定)を行ない、その結果を検討する。

<結果> 1) 結婚生活の幸福度は結婚する年齢と強い関連はないが、若年男性の結婚には多少の問題がある。2) 高学歴者は幸福度が高い。3) 職業の有無、職種が女性の場合は影響が大きい。4) 結婚形態は恋愛結婚の方が幸福度が高い。5) 結婚成立の意思決定に当事者の主体性の高いほど幸福度も高い。6) 結婚金の拠出は幸福組ほど当事者によるものが多く、親依存型は普通・不幸組に多い。7) 結婚銀、ならびに結婚前の準備項目は、精神的、内面的、かつ計画的な態度の者ほど幸福と維持している点が目立つ。8) 交際期間についてみると、検定結果の有意差は認められないが、普通・不幸組の男性は3か月以内とするものが約3割で、その反省からか、適性な交際期間として、1年以上と必要と考えるものが、その他の比較群より多いのが目立つ。

岡山県の小学校における被服製作指導(第1報)

—「並み縫い」の授業研究—

○ 岡山大学教育 西村 綾子  
岡山大学教育附小 佐藤 美子

<目的> 前報において、中学校入学直後の女子生徒の「並み縫い」の興味と調査した結果、縫い針の使い方に問題があることが判明した。そこで、本報は児童が縫い針と正しく拵って、並み縫いができるようになるための授業のあり方を探る。

<方法> 調査時期 昭和58年3月1、2日 調査対象 岡山大学教育学部附属小学校第5学年児童57名  
調査内容と方法 A・B2組の授業を下表に示した方法で試み、並み縫いの学習後の練習時間を使い、ビデオカメラで児童ひとりずつ縫い方を撮影する。録画を再生し、個人別に縫い方を5項目別、3段階評価し、その得点結果、合格率並びに児童の感想・交際等を総合して、並み縫いの授業のあり方を検討する。

指導法	学習課題の提示	到達目標の示し方
A	ロールバー入札と製作する大のに、並み縫いが早く、まっすぐにできるようなろう。	技能の到達目標を教師の示範と児童の模写により示す。
B	並み縫いが早く、まっすぐにできるようなびつて、ロールバー入札と製作する。	技能の到達目標を教師の示範により示す。

<結果> 並み縫いの5項目別得点では、A・B両方法による差は見られなかったが、合格率では男女間に差が見られた。その原因は、A組の男子の合格率が女子のそれより高率で、B組の女子が男子の合格率より高率であったためである。このことは、授業形態と性別とに何らかのかわりがあるのでないかと推測される。児童の感想では両方法間に差は見られず、両方法共に児童にとって有意義な授業であったことが分かった。今後の課題としては、カリキュラム作成、授業形態指導者、施設・設備時の向取が山積している。

# 中学校家庭科の男女共学について

鳥取大教育 本橋 靖子

現代の家庭における父親と子ども

— CCPテストを用いた調査 —

鳥取大教育 藤縄 昌子  
橋崎 晶子

## <目的>

- ① 家庭科教育—教科独自の対象と「生命と生活の再生産にかかわる家庭のいとなみ」として。また衣食住のいとなみとして、いかに育てるいとなみとして、と考える。健康・文化的な生活（憲法25条）と「4ヶ月の成長過程における個人の健康と男女の本質的相違、相互協力（24条）がテーマでなく、生命とくらしを育み発展させるための科学や、技術、文化」を学ぶものとする。② 家庭の営み、生活事象がみわかれ事実を正しくとらえることでき、③ 生命と生活を育み発展するために科学や技術をどう活かしてきたか学びとること、④ 健康な暮らしの文化（食、健康な家族関係、家庭力）について正しい理解を認識でき、⑤ 水を解決していく手段が豊富に実践できること、⑥ 生活技能をとおして、手を伸ばさざる、今よりなっている様を回復する。—— 男女ともにこの力を育てたい。
- ② 学習集団の中で発達する、「生活基礎である家庭は男女相互協力によっていくものである」ということを、集団の中で認識し、発達する。

## <方法>

- 最低水準は…という領域、内容に精選した。
- 学期を二分し、技術科と折半して実施。
- 学習内容の構成は次のようにした。

一年	A 食物(食味)	炭水化物の給源食品(米、小麦、いも)
	B 衣服	衣服の生理的機能と素材、健康を著方(洋服、和服)洗濯
二年	A 食物	蛋白質の給源食品(魚、大豆、肉類)Bは1年と2年をとり
	B 衣服	下衣の着用と補正(パンツ)の材料、かまきり
三年	A 食物	バランスのとれた食事、献立メニューの立案、食生活の改善期
	C 住居	健康な住生活 住居の機能、住まい方、家事
	b 保育、家族	民主的な家庭づくり、性、男女関係、生命の誕生、家族のあり方

- 報告は東部三市三中、形並区立大宮中にあり550～57年の実践である。

- <結果> ① 学習要求(達成)… 男女の差はない。「んとはなにをするの」とききにくのは男子の方が多い。認識… 男子は学習意欲は高かった。比較(三年の保育における親心は父親、母親)は、男女で学習意欲が、「ありまじ」「自然」という様子である。

- ② 目的、内容、技能… はじめ男子に女性らしい子が多かったが、陶冶性は男女差なし。
- ③ 男女共学のクラスでの実践と「男女共学」のクラスとを比較し男女どちらか一方の経験や知識をたしかめたい。互いの学びの方向がかわり、学びあひの意義がある。生徒の学習後の感想にもその一端がうかがわれる。

- <課題> 家庭科で生活にいかされ、はたらく力をつけるために。(学力向上)
- 今、家族のいとなみ、衣食住の現代的貧困と重なり生命やくらしはふいふかされていく。衣食住の問題と家族形成の人間関係と統一的に示した教材づくりが重要。
- 学力は「目的」をたたく、集団のために役立つ力として育てたい。

## <目的>

子どもの非社会的行動、反社会的行動は家庭における父親・母親との関係、家族のあり方と大きく関係していることの本調査により明らかにされている。特に最近では父親不在が種々の発達遅延、精神不安定等社会不適合に影響することはいわゆる母子関係については多くの研究がなされているが、父子の関係はどうかという点については本調査では調査により、父親が子どもにとってどんな存在であり、子どもの発達にとってどんな役割をているかについて明らかにしたいと考えた。

## <方法>

- CCPテストを用いた調査を行う。
- (調査対象) 幼稚園児、小学生年長(3年) 中学生年長(2年) 高等学校生徒(2年)と各両親
- (調査期間) 1982年10月
- (調査有効数) 幼稚園児40、小学生-39、中学生-39、高校生(37)と各両親
- (分析法) 調査資料を評し、データ解析用プログラムパッケージSPSSにより集計し、処理結果にもとづいて考察する。

## <結果>

- 本調査において、各発達段階に即して父子関係についていえば、かなり健全な父子関係であるように見られた。またいい母、やさしい父といわれた傾向はあまり見られなかった。
- ① 幼稚園段階ではS(首従、無制限受容)の出現率が高い。
- ② 小学生段階ではC(条件付き受容、激励)の出現率が高く、統制が加えられはじめた。
- ③ 中学生段階では子どもの欲求受容(受容)の出現率が高くなり、子ども側は父親の態度を拒否的と認知し、反抗が見られる。
- ④ 高校段階では精神的に大人に近づき受容が減少してきている。性差、男子に対しては拒否的傾向、女子に対しては受容的傾向。父親に受容されると感じている女子は77%、男子60%であり、4年、中学生では男女の差は38.7%となる。父親のスタイルは小学生から中学という時期に一歩の節をもつことになった。

### 被服指導内容の検討

——フトンの実態調査——

鳥取女子短期大学 信田 俊子

(目的) 社会は生産志向から消費者志向へと変遷し、現在では生活志向となっている。この変遷過程をふまえて、被服指導内容の充実と計りゆきと痛感している。

以前より裁縫科の習得は被服製作の技能の習得を中心とし、製作を通して人間形成につとめた。現在の家庭科の被服領域は以前と一変した。技能の習得中心では、今の生活様式に対応がたい実態にある。

被服指導の内容を見直し検討するために、第一段階として被服領域の一分野である履具(フトン)について意識調査とその実態を把握することにした。

(方法) 調査時期は昭和56年12月より昭和57年1月。調査対象は中部地区農山村家庭の主婦。調査方法は無作為抽出と留置記入法で回収。配布数600、回収数478、有効数465である。

(結果) フトン製作傾向については、年齢別、地域別にみると、地域別では顕著な相違は無い。年齢別では相違がみとられた。農山村、主婦は専従縫製よりも既製品購入率が高い。これは61.3%の就労率によるものと思ふ。

フトンの知識導入過程については学校関係と得た人は僅か6.0%である。母・姑によるもの、マスコミ関係による知識、研修者による知識の導入と新調、フタの処置とクロス分析すると、その結果、学校関係、母・姑の得た知識は、フトンの購入、管理が正しい傾向にある。マスコミ関係によるものは内題異なるとした。

学校教育で、フトンが教材として扱われているが、フトンの重要性は認められている。被服指導にフトンが位置づけられるか今後の課題としたい。

### 鳥取県における消費者教育

——主婦の消費者意識との関連——

鳥取大・教育 田結庄 順子  
林 恵子

<目的> 1980年代の消費生活のあり方の検討は、今日の課題である。現代生活の特徴は「商品化、情報化、公共機関化、(久富善之氏)の三つにあるとされるが、生産、労働から分離された消費生活は、まさにこの三つの状況の下におかれ、諸々の問題を生じている。そこで、鳥取県という一地域に限り、主婦の消費者意識との関連で消費生活のあり方、あるいは結果としての消費者教育の現状と課題を明らかにしていく。

<方法> 鳥取県の郡市別に主な地域を抽出し、婦人団体等を通じて留置法により調査を実施した。調査実施は1982年10月、回収は同年10月下旬である。調査対象は主婦で、配布数は615、回収数は424、回収率は68.9%である。調査項目は「消費者問題等に関する認識」「消費者の権利等に関する認識」「消費者被害の状況」「食品添加物等に対する認識」などである。分析は調査で得られた資料をデータ解析用プログラムのパッケージSPSSで集計し、その処理結果にもとづいて考察した。

<結果> JIS LO 217-1976についての認識は、80%以上は25項目中5項目にすぎない。消費者問題に対する関心をもつて人は、84.7%あるが、関心をもつ理由をみると、「忙しい」45.8%、「考えごとばかり」28.8%となり、この2つ消極的態度のみみられた。関心のある人の52.1%は新聞、47.6%はテレビより情報を得ており、「婦人新聞」も35.4%あった。消費者問題に対する認識はあまり高くなく、権利意識については、「4つの権利」を知らずにはじめ2問の人は65.8%もあり、全般の低値。これらの問題は、学校で習ったというよりは社会に出た後の個人の経験による。今後の課題である。

151

## 講演

### 鳥取の女性と教育

鳥取大学教育学部 高口明久 氏

鳥取県が婦人の社会参加と意識の向上を図り婦人関係行政の総合的効果的な施策の推進のために、婦人問題に関する意識と生活実態の調査を実施し本年3月その結果を報告書にまとめた。講師は、その調査研究協議に参画されたので、調査の過程や結果を盛りこみながらお話された。また、「鳥取県婦人問題意識調査報告書」をご恵贈くださった。

#### 講演要旨

##### 1. 婦人と家庭について

夫婦の役割は「夫は外で働き妻は家庭を守る」とした伝統的固定的な役割感が深く、女性75%・男性82%が、賛成またはどちらかといえば賛成と支持している。職業別では常勤雇用者とりわけ専門職につく女性には反対者が高率である。

家庭内の仕事の分担は、炊事・洗たく・掃除・衣服整理は主婦担当比率が高く夫の協力は極めて僅かであり、育児・しつけ・子どもの相談相手は夫と妻の双方が担当する比率がかなり高く、親戚付き合い・冠婚葬祭への出席は夫と妻の共同型が高い比率を占めている。全体を通じてみると女性に負担がかかっている。

##### 2. 社会のなかの女性の役割について

自由時間は男女で約1時間の差で男子が長い。その自由時間の過ごし方は、平日は受動的な「テレビ・読書」、休日は能動的な活動で、女性は「ショッピング」男性は「レジャー・娯楽」と「スポーツ」に集中している。

社会参加の状況は、参加している者は全男性で42%全女性で33%、郡市別では男女とも郡部に参加者が多く、年代別では男女とも子どもが小中学校に通学する年代が多い。また、自由時間が多い者が必ずしも社会活動に参加しているとはいえず、それは各人の社会或は地域社会に対する関心・意欲にかかわっている。この社会参加の内容は、女性は第1位「趣味的・教養的な活動」、第2位「PTA・町内会・自治会などの活動」、第3位「婦人団体などの活動」、第4位「地域づくりの

活動」の順であり、男性は第1位「PTA・町内会・自治会などの活動」、第2位「趣味的・教養的な活動」・第3位「地域づくりの活動」の順で、男性は社会的・地域的な活動が多く、女性は自由時間的な活動が多い。今後「ボランティア活動」、「消費生活に関する活動」を含めた社会型あるいは組織型の活動が重要となろうと考える。

##### 3. 女性の地位の向上

女性の地位はかなり向上し、男女平等が進んだと一般にはいわれている。このなかで、鳥取県民の意識は、「ある程度の差異はやむを得ない」、「もっと改善される必要がある」と現状を平等でないと思っている者が多い。その具体的なことはどこにあるかに関して「社会通念や風潮」、「家庭の中」、「職場の中」をあげ、前二者をあげる者は全国女性よりも多い割合である。

それでは、さらに男女平等、女性の地位の向上が進められるためにはどうあるべきか。

① 固定的な役割意識について、女は家庭が本分と今日の若い世代もいうが、それは望んでも得られない価値と逃避的な意味をもつものである。これは、克服されねばならない問題である。

② 職業にかかわる問題について、結婚・育児などのために仕事をやめると再就職は極めて困難だから、やめるか続けるかの選択はたいへんである。

③ 教育にかかわる問題 教育を通じて女性の意識は変わり、能力がありやる気があれば男性の分野と思われていたところへも進出すべきである。

##### 4. 家庭科教育の問題

家庭科教育に対する自分の考えを述べる。

自分（昭和30年に小学校入学）が小学校で受けた家庭科教育のイメージは決してよいものではないが、現在小学生の子どもをもって考えることは、男女の別なく家庭の仕事の手伝いをさせる——なまはなかでない仕事を与える——ことが大切である。それは、家庭労働の技術的な意味とともに精神的・社会的意味を知らせることに意義がある。

（文責 事務局）

## こ 連 絡

また、地区会の事務局は、従来どおりです。  
広島大学学校教育学部（家庭科研究室）  
〒734 広島市南区東雲3-1-33

### 昭和59年度中国地区会研究発表会予告

期 日 昭和59年8月下旬

場 所 松江市

詳細な案内と研究発表申込については、昭和59年4月上旬に連絡いたします。日ごろの研究や授業実践をふるって発表くださいますようお願いいたします。

世話人代表 島根大学 太田昌子

### 会費納入

本年度及び過年度の会費未納の方は至急おねがいします。

年会費 1,000円

未納の方には郵便振替払込書を同封しておりますのでよろしく。

### 住所・勤務先の移動

移動がありましたら、お手数ですが事務局にお知らせください。

## 新 役 員

地区会長・副会長・監査は総会報告のとおり、  
庶務会計 道丹博子（安田女子短期大学）  
望月てる代（広島大学学校教育学部）  
任期は58、59年の2年間です。

## 地区会員の移動

### 新入会員

#### 鳥 取 県

氏 名	〒	住 所（自宅または連絡先）	TEL	勤 務 先
田 中 亦栄子	689-02	鳥取市三津 221		
本 橋 靖 子	680	鳥取市湖山町南鳥取大学教育学部		鳥取大学教育学部

#### 岡 山 県

氏 名	〒	住 所（自宅または連絡先）	TEL	勤 務 先
高 山 真佐子	708	津山市川崎 30-1		美作女子大学短期大学部
畑 道 子	708	津山市榎高下 61		美作女子大学短期大学部

## 退 会

岡山県 片 山 たみ子

岡山県 河 島 久美子

日本家庭科教育学会共同研究 「児童・生徒の発達と家庭科教育」

第2年次 “家庭生活に関する技術” の調査結果

表記の研究の進行状況と調査問題について、本年4月18日付の通信でお知らせしたが、その報告書がま  
とまり、調査協力校や調査関係者に送付し、また6月の総会時希望者に実費で分けられました。

その一部を掲載します。(男女別のみ)

調査対象数

合 計	小学2年		小学4年		小学6年		中学2年		高校2年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
8868	886	887	914	881	895	875	827	915	882	906

調査設問回答

問1 家庭生活を明るく楽しくするため、あなたにできることのうち、一番大切と思うものを1つ選んで、番号に○をつけてください。									
区 分		家族と話し合う	我がままをいわない	病気になるらない	一緒に行動する	仕事を受けもつ	わからない	その他	NA
男	%	25.0	20.7	19.5	14.4	10.9	7.4	1.8	0.4
	N	1,100	911	857	636	478	326	78	18
女	%	28.3	22.7	16.3	15.1	12.4	4.2	0.8	0.3
	N	1,263	1,012	727	673	554	186	37	12

問2 あなたが日曜日に、家族みんなで食べるおやつを用意するとしたら、どうしますか。

① まずどんなことを考えておやつを決めますか。(2つ選択)

区 分		家族全員が好き	値段を考える	自分が食べたい	栄養がある	簡単にできる	自分で作れる	その他	解らない
男	%	57.3	35.3	33.7	27.9	14.3	9.1	2.4	2.2
	N	2,522	1,554	1,484	1,227	630	402	105	99
女	%	71.2	26.9	22.7	26.2	17.5	22.5	1.3	0.6
	N	3,178	1,201	1,013	1,171	781	1,003	59	25

② 次に、どんなおやつにしますか。(1つ選択)

区 分		クッキー、ビスケットなど	せんべい、スナックなど	サンドイッチ、ケーキなど	くだもの	プリン、ゼリーなど	あめ、チョコレートなど	まんじゅう、だんごなど	のみもの	その他	わからない	NA
男	%	14.9	21.6	18.0	11.0	6.2	6.7	5.7	5.7	3.2	6.6	0.3
	N	665	951	794	483	273	297	253	250	143	291	14
女	%	28.0	16.9	18.5	11.6	9.2	5.3	3.1	1.6	1.7	3.7	0.4
	N	1,252	755	828	517	409	236	137	71	76	166	17



③ そのおやつは買いますか。それとも作りますか。(1つ選択)

区 分		1. 買 う	2. 作 る	3. わからない	NA
男	%	75.6	15.8	8.2	0.4
	N	3,328	697	362	17
女	%	56.9	35.1	7.9	0.1
	N	2,542	1,566	351	5

④ それはなぜですか。1または2に○をつけた人は、その理由(1つ選択)

おやつを買う理由

区 分		家で作れない	買う方が簡単	作るのが難しい	買う方が美味	買う方が好き	買う方が安い	作るのが嫌い	その他	わからない	NA
男	%	22.0	25.5	18.4	13.2	3.6	5.5	3.5	3.7	4.1	0.5
	N	731	849	614	438	119	184	115	124	138	16
女	%	29.3	23.2	17.3	8.0	6.8	3.5	1.9	5.1	4.5	0.3
	N	744	591	441	203	174	88	49	130	114	8

おやつを作る理由

区 分		作るのが好き	家族が喜ぶ	作る方が美味	自分で作れる	作る方が安い	作る方が安心	作るのが簡単	その他	わからない	NA
男	%	22.5	23.4	22.2	10.2	10.5	2.2	2.9	3.4	1.9	0.9
	N	157	163	155	71	73	15	20	24	13	6
女	%	43.5	27.0	13.5	7.0	4.3	1.4	0.8	1.1	0.7	0.7
	N	681	423	211	110	67	22	13	18	11	11

問3 あなたが、日曜日に、近所の3～4歳の子どもの遊び相手を、1時間ぐらいたのまれたらどうしますか。

① 遊び相手をひきうけるか。

区 分		喜んで遊んであげる	遊んであげる	遊んであげたくない	その他	わからない	NA
男	%	22.1	44.7	15.4	5.0	12.7	0.2
	N	972	1,967	678	220	558	9
女	%	41.6	47.0	4.8	1.8	4.8	0.0
	N	1,857	2,096	213	82	214	0

②、①の選んだ理由

区分		子供が 好き	頼んだ 人が喜 ぶ	頼まれ たから あたり まえ	自分の 為にな る	子供は 好きで ない	自分の したい ことが できない	遊ばせ 方がよ く解ら ない	その他	解らな い	NA
男	%	26.8	21.1	13.9	2.6	2.4	10.1	7.4	5.2	9.8	0.9
	N	1,179	928	610	113	106	446	327	227	430	38
女	%	55.7	15.7	11.7	2.6	1.8	2.5	3.4	2.8	3.6	0.3
	N	2,486	700	522	117	80	111	152	123	161	12

問4 あなたは、袋や小箱に入っている食べものを買うとき、どんなことに気をつけて買いますか。3つ選んで、番号に○をつけてください。

区分		製 造 年月日	値 段	内容量	材料名	製品名	添加物	袋や小 箱につ いている 絵等	JAS マーク	製 造 会社名	解らない
男	N	2,928	3,168	1,564	916	937	630	797	659	308	105
	%	66.5	71.9	35.5	20.8	21.3	14.3	18.1	15.0	7.0	2.4
女	N	3,579	3,332	1,225	1,214	911	885	633	562	278	4.0
	%	80.2	74.6	27.4	27.2	20.4	19.8	14.2	12.6	6.2	0.9

問5 あなたは健康によい朝食として、「パン・バター・ゆで卵」のほかになにを食べたらよいと思いますか。2つ選んで、番号に○をつけてください。

区分		紅 茶	コーヒ-	チ-ーズ	ハ ム	野 菜 サラダ	牛 乳	おにぎり	ラーメン	わからな い
男	%	9.4	8.8	11.9	13.2	68.3	62.6	9.5	5.3	1.5
	N	412	386	525	583	3,008	2,758	418	234	65
女	%	7.4	3.5	7.8	6.6	84.6	78.0	4.1	1.4	0.2
	N	330	157	350	297	3,778	3,483	181	62	10

問6 調理について(ひとりできる, できるようになりたい, できなくてよい)

① ゆで卵

区分	ひとりでできる	できるようになりたい	できなくてよい	NA
男 % N	72.7 3,203	15.2 669	5.6 247	6.5 285
女 % N	79.4 3,543	14.5 649	1.7 76	4.4 196

ゆで卵「できるようになりたい」理由

区分	自分のためになる	好きなときに食べられる	家の人が喜ぶ	上手に作れない	家の人が作る	衛生的	買った方がよい	安い	作るのはきらい	その他	NA
男 % N	33.2 222	24.1 161	13.0 87	12.0 80	6.6 44	0.9 6	0.4 3	1.5 10	0.7 5	2.7 18	4.9 33
女 % N	38.1 247	14.2 92	16.5 107	12.3 80	7.9 51	0.3 2	0.9 6	1.1 7	0.9 6	3.4 22	4.5 29

② サラダ

区分	ひとりでできる	できるようになりたい	できなくてよい	NA
男 % N	45.6 2,009	30.8 1,356	15.7 693	7.9 346
女 % N	70.3 3,140	22.7 1,015	1.7 74	5.3 235

サラダ「できるようになりたい」理由

区分	自分のためになる	好きなときに食べられる	家の人が喜ぶ	上手に作れない	家の人が作る	衛生的	買った方がよい	安い	作るのはきらい	その他	NA
男 % N	33.1 449	16.7 226	15.7 213	11.1 150	8.3 113	1.5 21	0.6 8	1.3 18	1.3 17	2.2 30	8.2 111
女 % N	37.8 384	9.8 99	18.8 191	12.8 130	9.4 95	2.1 21	0.8 8	0.8 8	0.7 7	2.3 23	4.8 49

③ カレーライス

区 分	ひとりでできる	できるようになりたい	できなくてよい	NA
男 % N	31.5 1,388	46.7 2,057	15.1 667	6.6 292
女 % N	50.9 2,272	41.8 1,868	2.7 122	4.5 202

カレーライス「できるようになりたい」理由

区 分	自分のためになる	好きなときに食べられる	家の人が喜ぶ	上手に作れない	家の人が作る	衛生的	買った方がよい	安い	作るのはきらい	その他	NA
男 % N	28.2 580	25.1 516	13.3 274	10.3 212	8.1 166	0.6 12	1.2 24	1.1 22	1.2 24	2.9 59	8.2 168
女 % N	37.6 703	10.9 204	17.2 321	14.0 261	8.7 162	0.4 7	0.7 13	0.6 12	0.4 8	2.6 48	6.9 129

④ ハンバーグステーキ

区 分	ひとりでできる	できるようになりたい	できなくてよい	NA
男 % N	15.2 671	53.5 2,354	25.1 1,104	6.2 275
女 % N	33.8 1,511	55.3 2,470	6.7 301	4.1 182

ハンバーグステーキ「できるようになりたい」理由

区 分	自分のためになる	好きなときに食べられる	家の人が喜ぶ	上手に作れない	家の人が作る	衛生的	買った方がよい	安い	作るのはきらい	その他	NA
男 % N	26.4 621	24.1 567	13.1 308	11.2 264	7.2 170	0.6 15	1.6 38	0.8 18	1.1 25	4.0 93	10.0 235
女 % N	35.8 885	10.3 255	16.1 397	14.9 369	8.5 210	0.6 16	1.4 34	0.4 11	0.9 21	3.2 80	7.8 192

⑤ ちらしずし

区分	ひとりでできる	できるようになりたい	できなくてよい	NA
男 %	13.3	44.3	35.6	6.8
男 N	586	1,949	1,569	300
女 %	21.2	64.3	9.9	4.6
女 N	945	2,871	422	206

ちらしずし「できるようになりたい」理由

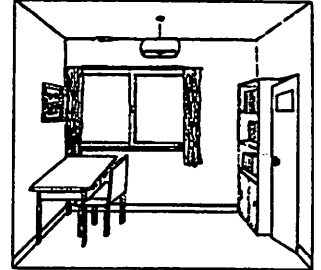
区分	自分のためになる	好きなときに食べられる	家の人が喜ぶ	上手に作れない	家の人が作る	衛生的	買った方がよい	安い	作るのはい	その他	NA
男 %	27.9	19.0	15.5	12.6	6.8	1.2	2.1	0.8	1.4	3.1	9.5
男 N	544	371	302	245	133	23	40	16	28	61	186
女 %	37.1	7.4	14.6	14.5	9.0	0.5	1.2	0.5	0.9	3.2	11.2
女 N	1,065	213	418	415	257	15	35	14	25	92	322

問7 住みよい住まいにするために、あなたのできることはどれですか。

区分	へやのそうじをする	へやの空気を入れかえる	たなやおし入れの整理・整頓をする	ポスター、絵、花びんなどのでかざる	へやの明るさをくふる	台所、ふろ場、洗面所などのそうじをする	机、本などの置き場所を変える	へやの温度を過ごしやすいように調節する	ごみを出す日や場所など、きめられたことを守って、ごみのしまつをする	電気、ガス、水道などが安全か調べる	その他
男 N	3,595	3,130	2,696	2,596	2,174	1,693	2,047	1,996	1,765	1,358	164
男 %	81.6	71.1	61.2	58.9	49.4	38.4	46.5	45.3	40.1	30.8	3.7
女 N	4,087	3,478	3,321	2,816	2,296	2,461	1,774	1,812	2,012	1,203	74
女 %	91.6	77.9	74.4	63.1	51.4	55.1	39.7	40.6	45.1	26.9	1.7

問9 南に窓がある勉強べやの絵を見て、あなたは机と本ばこの置きかたについて、どう思いますか。

区分		よくない	よい	わからない	N A
男	% N	57.2 2,519	30.3 1,336	12.2 536	0.3 13
女	% N	62.0 2,767	27.8 1,239	10.2 455	0.1 3



「よくない」に○をつけた理由

区分		勉強がきかすとき	勉強がきかすとき	本が出しにくい	本が出しにくい	本が出しにくい	本が出しにくい	本が出しにくい	本が出しにくい	わからない	N A
男	% N	47.2 1,189	33.2 811	7.6 191	2.9 72	2.2 55	0.9 22	6.0 152	1.1 27		
女	% N	49.9 1,382	32.4 896	7.0 194	1.9 52	2.4 66	0.3 9	5.4 150	0.7 18		

問11 普段着ているブラウスやカッターシャツ等の上着について

① 選ぶとき何に注意するか。(3つ選択)

区分		寸法が合っている	色やデザインが好き	洗濯がしやすい	ボタン等がしっかり付いている	値段が丁度よい	品質表示が付いている	縫いが丁寧	解らない	その他
男	% N	70.1 3,088	41.6 1,832	33.0 1,452	33.4 1,473	35.6 1,567	22.0 967	20.7 910	7.4 327	2.4 106
女	% N	79.3 3,541	54.7 2,442	38.3 1,708	35.5 1,586	31.3 1,398	22.0 981	22.5 1,005	1.7 78	1.1 50

② ポケット口がほころびたときの直し方(1つ選択)

区分		ミシン縫い	なみ縫い	本返し縫い	半返し縫い	まつり縫い	接着剤で止め	ホチキスで止め	その他	わからない	N A
男	% N	26.0 1,145	16.8 740	7.2 319	6.0 264	3.2 141	3.2 142	2.2 95	8.7 381	25.2 1,132	1.0 44
女	% N	39.1 1,744	16.8 748	13.6 616	11.5 515	4.7 210	0.4 18	0.3 13	4.4 198	8.3 372	0.7 30